

大切にします、あなたの思い

ささえます、一人ひとりの暮らし



# せいほうえん 聖芳園だより



## 20年目の大規模修繕

今年、聖芳園は移転し20年を迎えました。本号では20年を記念し、特集を組んでいます。これからも聖芳園の基本理念である、『大切にします、あなたの思い 支えます、一人ひとりの暮らし』を大切に、一歩ずつ前に歩いてまいります。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

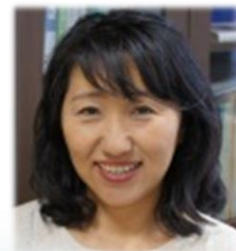
特別養護老人ホーム ソーシャルワーカー：木村 康弘

### 目次

『大規模修繕を終えて』	聖芳園施設長	三木 千晶
聖芳園 ～移転20年に寄せて～	前聖芳園施設長 札幌厚生会常務理事	静心寮施設長 三浦 敏人
聖芳園センター祭の様子		
公益事業案内	西の里 虹サロン	おれんじカフェ

## 聖芳園 ～大規模修繕工事を終えて～

施設長 三木 千晶



初冬の候、みなさまにおかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また日頃より当センターの運営について格別のご配慮をいただき、心より感謝いたします。

さて『特別養護老人ホーム聖芳園』は国道274号線に面したJR上野幌駅近くに昭和49年に開設し、地域のみなさまに必要とされる施設として歩んでまいりました。その後狭隘・老朽化に伴い、また新たに始まる介護保険制度に適合し、より充実したサービスが提供できるようにとの思いから当地に『北広島市高齢者総合ケアセンター聖芳園』として北広島市、北海道等からのご理解・ご支援をいただき新築移転したのが平成11年11月1日のことでした。

当地では広い敷地を求めることができ、特養は多床室から当時としては少なかった従来型個室へと様変わりし、在宅サービス事業所も複数抱えたスタートでした。行政が決定する『措置』から、お客様自らが選ばれる介護保険『サービス』へと制度上の位置付けが変化し、3年に1回改正される介護報酬に振り回されつつも20年が経過したところです。おかげさまで昨年度には借入金償還も完済いたしました。

建築物としては外壁のひび割れ・防水等に多くの課題を抱えていましたが、この度平成31年4月1日着手、令和元年10月31日竣工とみなさまのご協力のもと大規模修繕工事が完了いたしました。リニューアルした聖芳園をみなさまにお披露目できたことを心から嬉しく思うとともに、今回の工事費用を自己資金で返済終了できたことにも大きく安堵しているところです。

無事大規模修繕工事を終えることができたのも、サービスをご利用されるお客様、多くの関係機関のご協力のおかげであります。合わせて日々誠意を持ち、丁寧なケアを心がけている職員の力の大きさに本当に感謝しているところでございます。建築物としてより良い姿・形で存続維持しながら、お客様へのサービスを充実させていくことはもちろんですが、職員にとって今後も長く働きやすい職場であるように精進してまいります。

これからも聖芳園への温かいご支援をどうぞよろしく願いいたします。

# 移転20周年記念ページ

聖芳園に園歌があるのをご存知でしょうか。昭和49年に開設し、10周年記念事業の一環として園章と共に決められたものです。園章はよく使われていますので、ほとんどの方が知っていると思いますが、園歌はあまり知られていないようです。昭和59年の10周年記念誌より転載させていただきます。

## 聖芳園園歌

作詞 作曲 佐藤 洋子

### 歩いていこう

一、歩いて 歩いて 歩いたら

豊かな緑に つつまれた

私のふる里 聖芳園

二、歩いて 歩いて 歩いたら

聞こえる 聞こえる ふる里の

貴方と私の あの詩が

三、ここはふる里 西の里

明日への喜び 聖芳園

あたため あたため

歩こうよ



移転前の聖芳園です。  
昭和63年に外壁等の全面補修を行った時の写真です。  
今では当たり前のスプリンクラーや緊急自動通報システムも設備しました。

ご存知の方もいると思いますが、リフト車のMIYAMA号です。  
入所されていたお客様からの寄付にて購入したそうです。  
かなりの長期間現役で頑張っていました。

## 聖芳園 ～移転20年に寄せて～



前聖芳園施設長 札幌厚生会常務理事 静心寮施設長 三浦 敏人

聖芳園新築移転20年、おめでとうございます。

おめでとう、という言葉が適切かどうかは微妙なところですが、月日の流れるのは早いもので、あれからもう20年という歳月が流れたのですね。

折角ですので、当時の記憶を少し辿ってみたいと思います。旧聖芳園は、特別養護老人ホームが主体で、ショートステイが既存のベッドを利用しての数床程度のみでした。居室は6人室が主でかなり狭く、ベッドとベッドの間は車椅子すら通れないほどでした。カーテンの間仕切りはあったものの、プライバシーを保つには程遠く、時には些細なことからお客様同士のトラブルに発展することもありました。また、特に印象に残っているのは、エレベーターがなかったため、階段を使う以外は、車椅子、入浴ストレッチャー、配膳車、人や荷物の移動等、垂直移動はすべてスロープを使うしかなく、そのため、日常的な業務にかなりの労力と時間を割かざるを得なかったことでした。これは余談になりますが、ノンフィクション作家、沖藤典子氏の「銀の園、ちちははの群像」(1982.新潮社:沖藤典子氏が実際に聖芳園に来て取材、実体験をもとに執筆したもの)という書籍があり、この中に職員が毎日汗水を流しながら一生懸命長いスロープの上り下りを行っている。これがいつしか「汗のしづくロード」と呼ばれるようになった。という下りがあるのですが、あの頃はまさに日常がそのものという感じでした。そして(私事で恐縮ですが)当時新築移転に向けて、3年程前から「新機能委員会」という委員会を立ち上げ、事前の準備を行っていました。移転の予定は平成11年(1999年11月)でしたが、確か丁度ノストラダムスの大予言(フランスのノストラダムスという医師・占星術師著で1999年7月人類滅亡説が流行)の時期とも重なり、本当に人類は1999年7月で滅亡するかも…。こんなことをしていて大丈夫? など、恥ずかしながら自分の心の中で半分大真面目に思っていたこともあったと思います。

そうこうしているうちに、平成11年11月1日。自衛隊や行政関係機関、福祉施設職員、地域の皆様等多くの方々のご協力のもと、無事引っ越しを終えることができました。そして当日の旧施設最後の点検時、今までの感謝の意を込めて「長い間ありがとうございました。」と、それぞれの居室に丁寧に一礼して回りました。さすがに荷物が無くなった薄暗い居室には自分の声だけが妙に反響し、何とも言えない物寂しさを感じるとともに、そこで亡くなった方のことや、楽しかったこと、辛かった

ことなど沢山の思い出が次々と込み上げてきて、思わず涙がこぼれたことを覚えています。

旧施設は、特にハード面については古くて不便なことなども沢山ありましたが、反面、施設全体の雰囲気は家庭的で、人と人とのつながりというか、何とも言えない温かい、ぬくもりのようなものがあったことが特徴的な記憶として残っています。

新しい聖芳園では、在宅サービスの導入や充実等は勿論のこと、特に従前の特別養護老人ホームの6人居室がほぼ全室個室に改善されたことが印象的でした。そして、移転後の物品整理等の労力で心身共にかなりへトヘトになったこと。施設が従前より3倍程広くなったため、その広さや動線の長さに戸惑い、慣れるまでにかかなりの時間を要したこと。さらに、次年度の介護保険制度施行、西暦2000年問題等もあり、慌ただしい日々であったことが印象に残っています。

止めどない話になりましたが、聖芳園が新築移転し現在に至っているのは、行政及び関係機関の皆様、地域の皆様、長い間支えてくださったボランティアの皆様はじめ多くの皆様に支えられてきたからこそであります。本当に感謝に堪えません。



介護保険制度はこの約20年で大きく変遷を遂げました。時代も平成から令和へと変わりました。そして高齢者に係る関係法令や制度等を含め、何かと変化の多い時代になりました。しかし、時代は変わっても聖芳園の基本理念は変わることはありません。今後も聖芳園の職員はお客様の支えとなれるよう日々努力し、より良いサービスの提供に取り組んでまいります。どうぞ、これからも聖芳園を末永く見守っていただきますことを祈念して、拙文で恐縮ですが寄稿とさせていただきます。

#### 移転以前から聖芳園に勤務している職員の声聞いてみました

特別養護老人ホーム主任ケアワーカー

松澤 浩子



特別養護老人ホーム栄養主任

北村 みゆき



20年が経ち、聖芳園は様々なことが大きく変わったと思います。移転したその日のことを今でも鮮明に記憶しています。

その日、私は夜勤でした。忙しくて、ナースコールに応えるだけで精一杯でありました。

それから少しずつ働きやすい環境になってきていると思います。

これからも入所者の方や利用者の方が生活しやすいようお手伝いをしていきたいと思っています。

20年と言うと赤ん坊が成人を迎える年月です。そう考えると短いようで長かったのかもしれませんが。とにかく引っ越しは自衛隊の助けも借りながら、大掛かりなもので大変でした。また、建物が広く、左右対称で、慣れるまで方向を間違えたことを覚えています。さらに、個室を中心とした居室は、当時は珍しいものでした。今後も聖芳園が時代に合わせて、どんどん変化して成人からさらに成長して行けますように！

# 聖芳園センター祭の様子



# 聖芳園センター祭の様子



## 公 益 事 業

## 西の里 虹サロン

お茶を飲みながら  
気軽に  
交流して頂く場で  
男性も参加されていますよ



## 西の里虹サロンとは？

毎月地域のボランティアさんと共に開催しております。  
近所にお友達が欲しい方、お茶を飲みながら気軽に話したい方、楽しく体を動かし認知症の発症を予防したい方等、どなたでも参加できます。開催中の出入りも自由で、事前の申し込みも必要ありません。  
コグニサイズという体操に取り組み、毎回笑いながら和やかに体を動かしています。きた高齢者支援センターとも共催し、困り事の相談に乗ります。季節に合わせた甘味を食べたり、大小の催し等を通して “楽しくまた来たくなるサロン” を目指しています。

## いつ、どこでやっているの？

日 時：毎月 第3土曜日 13:30～15:00  
場 所：西の里会館 集会室（西の里南1丁目2-2）  
参加費：お一人様100円（お茶菓子代）  
（行事により別途ご負担いただくこともあります）  
申込み：不要（直接会場にお越しください）

是非サロンに  
遊びに来て下さい！



## 西の里おれんじカフェ

西の里おれんじカフェ（認知症カフェ）は西の里地区にあるグループホーム紅葉館、グループホームあさひの家北広島、西の里恵仁会病院や地域のボランティアの皆さんと協働して活動し、認知症の方や物忘れが気になる方、そしてそのご家族の交流の場として約4年が経ちました。

開始当初と比べると、徐々に問い合わせや新しい方の参加も見られるようになってきました。西の里おれんじカフェは「参加者同士が元気を分け合え、居心地の良い場」を目指して活動しています。今後も地域の皆様のご協力をいただきながら続けていきますので、気軽にご相談ください。

## ～西の里おれんじカフェの開催～

日 時：毎月第2水曜日 13:30～15:30  
場 所：西の里会館の集会室  
参加費：お茶菓子代で100円（行事により変動することあります）  
申込み：1週間前までに聖芳園（375-3126）へご連絡下さい  
担当者：木村、佐藤、長澤、長南



## 編集後記

昭和に開設し、平成に大規模になって移転して令和に大規模修繕を行いました。

とてもきれいな外観となり、私達職員もそれに負けないようにサービスの内容を充実していきたいと思えます。

広報委員 宮腰 富士雄

特別養護老人ホーム聖芳園/ショートステイ：(011) 375-3126  
聖 芳 園 デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー：(011) 375-5070  
聖 芳 園 ホ ー ム ハ ル パ ー ス テ ー シ ョ ン：(011) 375-5080  
聖 芳 園 居 宅 介 護 支 援 ス テ ー シ ョ ン：(011) 375-3245  
北 広 島 市 きた 高 齢 者 支 援 セ ン タ ー：(011) 375-5888  
ホームページ：<http://www.seihoen.or.jp>  
〒061-1102 北広島市西の里 347 番地4